

平成24年度第4回青梅市協働事業市民推進委員会概要

平成24年12月21日

本庁舎5階502会議室

14:30～16:38

1 報告事項

(1) 来年度の市民提案協働事業について(資料1)

事務局より報告

質疑応答

委員長：継続する事業については書かれていないのか。

事務局：継続事業の場合は担当課で予算を計上してもらいたい。

また、今回については次年度4月から事業実施できるように今年度中に審査をしていく。

委員長：対象とならない経費について、施設の整備とあるが、事業例の空き家の整備についても対象とならないのか。

事務局：団体の事務所の整備のことである。

委員：提案制度の協働事業よりも既存の協働事業が多いので、市全体として今後は提案制度の協働事業を増やした方が良いのでは。また、提案制度で実施した事業を今後育てていくことも必要では。

事務局：毎年提案制度を実施することで事業数が増える。また、2年目に担当課が予算をつけるときは既存事業をやめることになる。その点では既存事業の減少と新規事業の増加になる。

委員：昔から行っている事業がそのまま続くのは良くない。

委員：審査基準の点数はかえるのか。

事務局：見直す予定である。

委員：行政テーマがあることが良い。

委員長：行政が大事だと思いながらあまり取組まれていないものがテーマになっているのか。

事務局：そうである。

委員長：自治会館の開放もできると良い。地域によっては市民センターが遠い。

委員：子どもの居場所を作ることは大切である。また、空き家の手入れは大変である。

委員：提案制度は応募の区切りがあるが、随時受付ける方法も良いのでは。

事務局：そういった方法も考えられる。

委員長：提案が減るのはもったいない。増えると良い。

(2) その他

- ・今年度の市民提案協働事業進ちょく状況について事務局より報告

2 協議事項

(1) 平成23年度実施協働事業の評価について(資料2)

- ・事務局より説明：今年は事業をピックアップし4段階評価をするのではなく、協働の観点からの意見をいただきそれを評価としたい。事業評価(事業を撤廃すべき、存続すべき等)ではなく、あくまで協働の観点からの意見をお願いしたい。個別の事業についてでも、全体をとおした意見でも構わない。次回意見をうかがいまとめ、協働の庁内会議に報告する。

質疑応答

委員：協働事業の判断は各課で行っているのか。

事務局：各課で判断している。

委員：全ての協働事業は市民提案と同様に審査されるべきでは。

委員長：協働なのか疑問に思う事業も中にはあるかもしれない。よりよい協働スタイルを目指しチェックするのがこの委員会の役割である。また、全事業の審査はシステムの問題でできないので、それはもっと先の話ではないか。

委員：市民センター運営協議会は協働事業なのか。

事務局：センターの運営を良くするために集まっている協議会である。

委員：位置づけとしては協働だが、参加している人の意識の面でそうなのかはまた別の問題である。

委員：予算の使い道について気になるものもある。

委員長：提案事業助成金の項目についても見直しが必要なものもあるの

では。

委員：提案制度の予算もみんな上限ギリギリで出してくることが多いのでは。

委員：事業は市民側が主体で実施しないと続かないのでは。

(2) 今後の協働の推進について (前回の続き)

(これからどんな風に協働が進んだら良いか。市民推進委員会はどういう会議にしたいか)

- ・事務局から前回出た意見の説明。
- ・今回出た意見をまとめ協働の庁内会議に報告する。

前回および今回のまとめ

協働事業市民推進委員会について

- ・初めに委員会で具体的に何をするのか共有すべき
- ・協働事業の認識についても共有すべき
- ・面白い会議にしたい

協働について

- ・市民が主役になってまちづくり (協働) しよう
- ・まちに興味を持つ人を増やすことが大切
- ・予算も市民が主役の方がいいかも
- ・有償も大切
- ・協働するうえでは意識改革が必要
- ・高齢者の協働が少ない
- ・参画や協働という言葉の意味を知らない

- ・もっと情報発信が必要

協働の評価について

- ・全事業 0 から見直したい
- ・協働のポイントに沿っているか見直したい
- ・事業の数値目標が大切
- ・事業の過程も大切

- ・全協働事業の予算規模が気になる

協働事業として報告された委員会について

- ・あて職が多いのでメンバーを見直した方がよい

- ・謝金がバラバラで不公平感がある。
- ・委員会に参加している人が協働の意識を持とう
活動の支援について
- ・活動者を夜までサポートする機能が必要
- ・リーダーの育成が必要
- ・研修による活動者のスキルアップが必要

3 その他

市民提案協働事業の審査委員は年度内は同じ人。1人欠となるため代わりに副委員長が担当する。

次回 平成25年2月14日 14 - 16時
閉会